

ミステリ読書案内

2024. 3. 11 発行元

第558号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

R・B・パーカー「ベスト表」(再掲)

ハメット・チャンドラー・マクドナルドと続く「正統派ハードボイルド」の流れを引き継ぐ代表的な作家・ロバート・B・パーカーの『ベスト表』を再度取り上げてみることにする。私立探偵スペンサーの活躍。

正統派ハードボイルドの流れ

ロバート・B・パーカーは若い頃の私のミステリ読書と同時並行で作品を発表していった作家である。私は『ゴッドウルフの行方』から順に読み続けた。正統派ハードボイルド好きの私にとっては有難い存在であり、次作の発売が楽しみだった。以前の『代表作』の号では『約束

の地』『失投』『初秋』と活躍時期に応じた選定を試みたが、今回は一番脂ののった時期の『ユダの山羊』と『銃撃の森』を選んでみた。

訳者の菊池光も書いているようにストーリーの中に「騎士道」が入り込み、自分の力で自分の考える正義を切り開く物語になりつつある頃の作品である。追跡と攻撃の行動力を全面に出したミステリ。

《R・B・パーカーのベスト表》

1. 約束の地
2. ユダの山羊
3. 誘拐
4. 失投
5. レイチェル・ウォレスを捜せ
6. 銃撃の森
7. 初秋
8. 儀式
9. 残酷な土地
10. 広がる環
11. キャッツキルの鷲
12. 告別
13. 真紅の歓び
14. 海馬を馴らす
15. 悪党
16. 晩秋
17. スターダスト
18. プレイ・メイツ
19. 蒼ざめた王たち
20. ペーパードール
21. ゴッドウルフの行方
22. 突然の災禍
23. ダブルデュースの対決
24. 虚空
25. 歩く影
26. チャンス
27. 沈黙
28. ハガーマガーを守れ
29. ポットショットの銃弾
30. 笑う未亡人
31. 真相

『銃撃の森』のみシリーズ外の作品。他は皆「スペンサーもの」。私が読んでいるのはここまで。他に10作ほど。

「ユダの山羊」

1978年の作。私の手元にあるのは1979年の早川書房の初版。『約束の地』に続く作品で、パーカーの良さが一番発揮された時期のもの。チャンドラー作品に似た作風から自分独自の世界が確立されていく段階の代表作と言えるだろう。

ボストンの私立探偵スペンサーは、マサチューセッツにあるヒュー・ディクソンの邸宅を訪れる。玄関のボタンを押すとアジア系の召使が出てきて、外のテラスへ案内してくれた。そこには車椅子に乗った大きな男がいた。「どの程度、できるのだ？スペンサー？」と聞いてくる。一年前にロンドンのレストランで爆弾テロが起き、ディクソンと妻と娘が巻き込まれ、妻と娘は死亡し、ディクソン自身も長期間にわたる入院が必要だったという。テロの犯人は全部で九人。ディクソンは顔を覚えていてモニタージュができていて、一人につき2500ドル、九人全員なら25000ドルを出すので、犯人は生きていても死んでいてもいい、どんな形でも捕まえてほしいとの依頼。スペンサーはすぐに引き受けてロンドンへ飛ぶ。新聞広告を出して、自分を囮にして犯人を誘い出す。しかし、スペンサーも怪我を負うことになり、助けを求めたのが黒人のホーク。二人での闘いが始まる。舞台は転々とし…。

「銃撃の森」

1979年の作。私の手元にあるのは1981年の早川書房の初版。上記の『ユダの山羊』に続く作品。パーカー・ミステリの中では「スペンサーもの」ではない最初のもの。主人公は作家のアロン・ニューマン。「私立探偵もの」ではないけれども、物語の流れは似通っている。

ニューマンはヘルスクラブから自宅へ帰る途中の道路沿いで殺人現場を目撃した。黒髪を後へなでつけた長身瘦躯の男が女の頭に三発銃撃をして逃げるところだった。銃身の短い拳銃をコートの下に差し入れると青いリンカーンに乗り込んで走り去った。ニューマンは警察に通報し、警察署へ行って犯罪者顔写真の中から札付きのギャング・アドルフ・カールを選び出した。裁判で証言することを約束して帰途に突くのだが…。家に着いてみると妻のジャネットがベッドの縛りつけられていた。そして電話がかかかってきて、「何も見ていない、自分の思い違いだった」と証言を変更するよう脅迫された。ニューマンは一旦それを受け入れ証言を覆すことになるのだが、次第に情けない気持ちが湧きあがり、独自にギャングたちにやり返そうと決心をする。友人のクリス、妻のジャネットと共に逆襲に立ち上がる。そして決戦の地の湖畔の森の中へ…。